

教科	数学	科目	数学A	単位数	1 単位	学年	2 年	コース	EAFL
使用教科書	啓林館『深進数学A』			使用副教材等	啓林館『深進準拠問題集 定着演習編 Axis 数学 I + A』				

目標	数学Aの内容における数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけるようにする。また、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学Aの内容における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学Aの内容において、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を備えている。	数学Aの内容における数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を備えている。
評価方法	・定期考査(80%) ・テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) ・課題テスト(10%)	・定期考査(80%) ・テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) ・課題テスト(10%)	・振り返りノート(80%) ・テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) ・授業態度(10%)

担当者からのメッセージ	新学習指導要領では上記3観点を基に評価を行います。評価の際には、定期考査はもちろんのこと、日々の課題への取り組み状況や未知の問題に対する粘り強い学習姿勢、常に自身の学習態度を改善しようとする姿勢が大きく関わってきます。授業を受ける際には、「教員の言葉や指導を傾聴し、常に学習態度の改善に励むこと」、「予習・復習等の家庭学習を継続的に行うこと」を大切に、学習に臨んでください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準	
1	4	第1章 場合の数と確率 序節 集合	序節 集合 【知識・技能】 ・集合の包含関係やド・モルガンの法則を相互に関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな要素を集合を用いて考察することができる。 ・いろいろな集合を図表示などを用いて適切に表現することができる。	
	5	第1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 和の法則 4 積の法則	第1節 場合の数 【知識・技能】 ・和の法則、積の法則を利用して場合の数を求める知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・起こりえる場合の数を樹形図や和の法則、積の法則を使って的確に求めることができる。	
	6	第2節 順列・組合せ 1 順列 2 いろいろな順列 3 組合せ 4 同じものを含む順列	第2節 順列・組合せ 【知識・技能】 ・円順列や重複順列、同じものを含む順列の公式を導く過程を理解している。 ・いろいろな順列と組合せを理解し、効率よく正確に求めるための知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・円順列や重複順列、同じものを含む順列の公式を使って場合の数を求めることができる。 ・起こり得る場合を整理し、いろいろな順列と組合せの公式を適切に用いて、場合の数を正確に求めることができる。	
	7			
	8			

9	第3節 確率とその基本性質 1 事象と確率 2 確率の基本性質	第3節 確率とその基本性質 【知識・技能】 ・確率の基本性質を理解し、活用する知識を身に付けている。 ・「同様に確からしい」ことについて、十分に理解している。 【思考・判断・表現】 ・確率の基本性質を導く過程を考察することができる。 ・確率の基本性質を使って、和事象や余事象の確率を求めることができる。 ・根元事象を意識し、「同様に確からしい」もとで確率を考察することができる。
10		
2 11	第4節 いろいろな確率 1 独立な試行 2 反復試行 3 条件付き確率	第4節 いろいろな確率 【知識・技能】 ・独立な試行、反復試行を関連づけて理解している。 ・確率の乗法公式を理解し、基本的な知識を身に付けている。 ・根源事象の個数に着目して、条件付き確率は、すべての根元事象の起こる確率が等しいければ、場合の数の数え上げに帰着して考えられることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・独立な試行、反復試行の確率を求める過程を考察することができる。 ・条件付き確率を求める過程を考察することができる。 ・条件付き確率を、すべての根元事象の起こる確率が等しい場合に、場合の数の数え上げに帰着して考察することができる。
12		
1	第5節 期待値 1 期待値	第5節 期待値 【知識・技能】 ・期待値の意味を理解し、活用する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・期待値からその意味を考察することができる。
3 2		
3 3		